

いわき民報

所行發 いわき民報
社報民きわい
(第一八三號) 地第一町田平市
人 行 寄 郵 局 寄 附
己克輝千 人 人 寄 附
除心日曜月但 刊 日
張五第 一 四 五 月 一 一 價 定

譲る
醫療器具一揃
但し中古品、田舎で開業
來る程度の品あり
直接面談し度し
姓名 在はいき民報

吏員収入一躍八割増

三月から遡って給與と決る

平市當局は、ハネ上る物價高に生活をかかされてる吏員の待遇改善策に頭を痛めてゐたが、政府の官吏優遇指令が漸く到達した為、縣内三市に先立ち、四月午後二時市参事會を招集、優遇費十一万六千圓を始め、計十九萬二千六百三十一圓の追加豫算案を上げ、原案通り可決早速支給することになつた。

今回の吏員優遇費は總收入二百圓を規準とし、本條諸手當を加し二百圓以下の者にはその收入の八割支給、二百圓以上の者は一割を超へる毎に、この割合を減じた額を、特別に今年に農村収入から一割を減じた額に、この割合を支給することになる、従つて、従前よりも、約二割増の収入を得ることになる。

春籾の收荷場決定

昨年よりも二日早い初出荷

夏井、高久、豊間、好間、破野、磐崎、箕輪、川前、九百六十圓(川前)植田千三百三十圓(植田、川前、山田、錦渡)田人千三百圓(田人)上選野四百五十圓(上選野)八遠野千三百圓(八遠野)永戸七百圓(永戸)三坂千六百圓(三坂、澤渡)小川千八百十四圓(上下小川、赤井)

塵芥運搬

問題に成つた

塵芥運搬問題に成つた。塵芥運搬は、衛生上の要であるが、現在の市況を考慮し、運搬費用の増大が懸念されている。市当局は、運搬業者と協議中である。

大道異變

平中 奇二

「有名な金持ちの家から、イスキが一火事の時に、お巡りさんの家から米を二俵運び出した」とかいふ風評がある。單なる風評に過ぎないと思ふ。又、風評ならんことを祈る。

併し、風評だとすれば、人の子を傷つけるといふよりは、人を殺すものであり、許すべからざる罪悪である。

望みは上海沖の低氣壓

現在のまゝゆけば明晩は雨

田植時期を迎へ農村ははつと晴あがつた。空梅雨で水不足に悩む既に平地部は十日以上も田植が遅れこの儘降り雨がないと田植ばかりでなく、きりり苗を植付けたばかりの加作も根付きが悪くて大弱りであるが、でもいつ降り出すか?この空梅雨を小名浜漁港所に打診して見る。高氣壓が太平洋上小笠原附近に強い勢力を張つてゐるので、南風が吹き暑い夏型の上天気

食糧對策委員會設置

警炭聯が連絡委員とも常置

十七日實行委員上京猛運動

食糧對策委員會を設置し、警炭連と連絡委員を常置する。十七日に執行委員を上京に猛運動する。食糧不足の懸念が強い中、市当局は、警炭連と連携し、食糧確保に努めることとした。

一家五名が

腸チブスに

一家五名が腸チブスに。四倉町五木宿宿手代木みさ子(三)方一家六名は十五日腸チブスと決定隔離。

統制違反にも代替品

米穀類もいよいよ底をついたか

米穀類もいよいよ底をついたか。統制違反にも代替品。米穀類の供給が厳しく、一部の業者が統制を無視して市場に出回していることが報告されている。

全中傷

川部村福旺炭礦の経営管理問題

川部村福旺炭礦の経営管理問題。全中傷。炭礦経営の不振が続いており、労働者の生活が脅かされている。経営改善の途徑を探る必要がある。

隔離舎は満員

湯本町で注意を

隔離舎は満員。湯本町で注意を。伝染病の発生により、隔離施設が満員状態に陥っている。当局は、隔離施設の増設や、患者の適切なケアを求めている。

言寸きわ

市吏員の俸給一躍八倍となる

市吏員の俸給一躍八倍となる。給与増額の噂が流れており、市当局の財政状況が注目されている。

謹啓亡父之儀

弔詞並に御香奠を辱ふし且御多忙中にも不拘

謹啓亡父之儀。弔詞並に御香奠を辱ふし且御多忙中にも不拘。遠路から弔問が寄せられ、ご逝去のご逝去を悼みます。

諸橋方
妻増田 靜枝

